

2022年11月期全塾協議会定例会議事録

2023年8月3日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2022年11月26日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職役名並びに条数は議会当時のものである。

議事概要記録

名称	2022年11月期全塾協議会定例会
場所	対面（三田キャンパス472）、オンライン（Zoom）併用
日時	2022年11月26日 14:15～17:40

出席者

	塾生代表	山田健太
文化団体連盟本部	文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長	松尾和真
体育会本部	体育会本部 主幹	菊池龍志
全国慶應学生会連盟		欠席
全塾ゼミナール委員会	全塾ゼミナール委員会 委員長	三河創太
四谷自治会	四谷自治会 会長	藤村悠哉
芝学友会	芝学友会 会長（オンライン）	横山さくら
	芝学友会 代表代理	湯山遥加
福利厚生機関	福利厚生機関本部 代表	松尾和真
	全塾協議会事務局 事務局長	後藤美汐
	全塾協議会事務局より他6名	
以下議案提出者	オリエンテーション実行委員会 ステージ企画局長	岡崎里桜
	2023年度オリエンテーション実行委員会 財務	木戸大暉
	第23回矢上祭実行委員会 委員長	溝口大智
	第23回矢上祭実行委員会 財務責任者	松下香穂
	第24回矢上祭実行委員会 委員長	丸谷祐晟
	第24回矢上祭実行委員会 財務責任者	松枝尚明
	第24回矢上祭実行委員会 副財務責任者	奥田大貴
	第24回矢上祭実行委員会 企画監査	都築拓馬
	三田祭実行委員会 財務局長	佐藤のぞみ
	卒業アルバム委員会 財務代理	高橋功太郎
	應援指導部 会計	宮宇地優花
	應援指導部 チアリーディング部会計	前野あい
	應援指導部 定演会計	根本泰成
	法学部政治学科ゼミナール委員会 委員長	李寛裕
	法学部政治学科ゼミナール委員会 財務	河野さわ

次第

項目	担当・議案提出者
1. 開会宣言	事務局長 後藤美汐
2. 塾生代表挨拶	塾生代表 山田健太
3. 定足数確認	
4. 配布資料の確認	
5. 議長の指名	
6. 議事録報告	議事部長 大澤治香
7. 議事	
(1) 塾生代表報告 [20221126-01-JSD]	塾生代表 山田健太
(2) 事務局報告 [20221126-02-JMK]	
i. 総務政策部報告	総務政策部長 舟山純平
ii. 財務部報告	財務部長 土肥諒紀
iii. 議事部報告	議事部長 大澤治香
iv. 広報部報告	広報部長 長谷川希実
v. 局長報告	事務局長 後藤美汐
(3) 選挙管理委員会の2023年度塾生代表選挙日程報告 [20221126-03-SKN]	選挙管理委員会 委員長 藤村悠哉
(4) オリエンテーション実行委員会の交代報告 [20221126-04-ORJ]	オリエンテーション実行委員会 財務 木戸大暉
(5) 卒業アルバム委員会の独自財源特別支出承認申請 [20221126-05-SAI]	卒業アルバム委員会 財務代理 高橋功太郎
(6) 卒業アルバム委員会の団体規約についての報告 [20221126-06-SAI]	卒業アルバム委員会 財務代理 高橋功太郎
(7) 芝学友会の独自財源特別支出承認申請 [20221126-07-SGK]	芝学友会 代表 横山さくら
(8) 法学部政治学科ゼミナール委員会の交代報告 [20221126-08-HSZ]	法学部政治学科ゼミナール委員会 委員長 李寛裕 財務 河野さわ
(9) 選挙管理委員会の交付金特別支出承認申請 [20221126-09-SKN]	選挙管理委員会 委員長 藤村悠哉
(10) 三田祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20221126-10-MTI]	三田祭実行委員会 財務局長 佐藤のぞみ

項目	担当・議案提出者
(11) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請 [20221126-11-OES]	應援指導部 会計 中島由茉 チアリーディング部会計 前野あい 定演会計 根本泰成
(12) 應援指導部の交付金特別支出承認申請 [20221126-12-OES]	應援指導部 会計 中島由茉
(13) 矢上祭実行委員会の交代報告 [20221126-13-YGM]	矢上祭実行委員会 委員長 溝口大智 財務 松下香穂、溝川結衣
(14) 矢上祭実行委員会の交付金特別支出承認申請 [20221126-14- YGM]	矢上祭実行委員会 委員長 溝口大智 財務 松下香穂、溝川結衣
(15) 塾生代表の緊急執行に関する議案 [20221126-15-JSD]	全塾協議会 塾生代表 山田健太
(16) 体育会本部の団体規約についての報告 [20221126-16-TKH]	体育会本部 主幹 菊池龍志
(17) 全塾ゼミナール委員会の団体規約についての報告 [20221126-17-ZZI]	全塾ゼミナール委員会 委員長 三河創太
(18) 塾生代表の選挙期間中におけるコミュニケーションツールの運用に関する特例に関する報告 [20221126-18-JSD]	全塾協議会 塾生代表 山田健太
(19) 塾生代表の 2022 年度全塾協議会第一次補正予算に関する議案 [20221126-19-JSD]	全塾協議会 塾生代表 山田健太
(20) 塾生代表の全塾協議会規約及び規則の変更に伴う議案 [20221126-20-JSD]	全塾協議会 塾生代表 山田健太
(21) 塾生代表の全塾協議会の基本政策に関する議案 [20221126-21-JSD]	全塾協議会 塾生代表 山田健太
(22) 塾生代表の次年度新歓運営における全塾協議会の基本方針に関する議案 [20221126-22-JSD]	全塾協議会 塾生代表 山田健太
(23) 選挙管理委員会の選挙管理委員会細則改正に関する議案 [20221126-23-SKN]	選挙管理委員会 委員長 藤村悠哉
8. 連絡事項	塾生代表 山田健太
9. 閉会宣言	事務局長 後藤美汐

議決事項

議案識別子	提出者	議案名	可否
20221126-01-JSD	塾生代表	業務報告	採決なし
20221126-02-JMK	全塾協議会事務局	業務報告	採決なし
20221126-03-SKN	選挙管理委員会	2023 年度塾生代表選挙日程報告	採決なし
20221126-04-ORJ	オリエンテーション実行委員会	交代報告	採決なし
20221126-05-SAI	卒業アルバム委員会	独自財源特別支出承認申請	保留
20221126-06-SAI	卒業アルバム委員会	団体規約についての報告	採決なし
20221126-07-SGK	芝学友会	独自財源特別支出承認申請	可決
20221126-08-HSZ	法学部政治学科ゼミナール委員会	交代報告	採決なし
20221126-09-SKN	選挙管理委員会	交付金特別支出承認申請	可決
20221126-10-MTI	三田祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20221126-11-OES	應援指導部	独自財源特別支出承認申請	可決
20221126-12-OES	應援指導部	交付金特別支出承認申請	可決
20221126-13-YGM	矢上祭実行委員会	交代報告	採決なし
20221126-14-YGM	矢上祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20221126-15-JSD	塾生代表	緊急執行に関する議案	可決
20221126-16-TKH	体育会本部	団体規約についての報告	採決なし
20221126-17-ZZI	全塾ゼミナール委員会	団体規約についての報告	採決なし
20221126-18-JSD	塾生代表	選挙期間中におけるコミュニケーションツールの運用に関する特例に関する報告	採決なし
20221126-19-JSD	塾生代表	2022 年度全塾協議会第一次補正予算に関する議案	可決
20221126-20-JSD	塾生代表	全塾協議会規約及び規則の変更に伴う議案	採決なし
20221126-21-JSD	塾生代表	全塾協議会の基本政策に関する議案	可決
20221126-22-JSD	塾生代表	次年度新歓運営における全塾協議会の基本方針に関する議案	可決
20221126-23-SKN	選挙管理委員会	選挙管理委員会催促改正に関する議案	可決

2023年8月3日 議事録作成

全塾協議会事務局 事務局長 後藤美汐

(署名)

全塾協議会規約第 22 条に基づき、事務局長の署名は省略する。

この議事録が正確であることを証する。

塾生代表 山田健太

(署名)

山田 健太

全塾協議会 議長 松尾和真

(署名)

2023年8月23日付で議事録を真正なものであると確認した。

議事詳細記録

1. 開会宣言

事務局長 後藤美汐が開会を宣言した。

2. 塾生代表挨拶

塾生代表 山田健太が挨拶を行った。

3. 定足数確認

議事部長 大澤治香による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。

4. 議事確認

議事部長 大澤治香が、既に配布された資料の確認を行なった。

5. 議長の指名

議事部長 大澤治香は、全塾協議会規約 第 10 条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致で文化団体連盟三田本部常任委員会委員長 松尾和真が議長に選任された。

6. 議事録報告

議事部長 大澤治香は 2022 年のもの 1 つの確認を議事部長で終えているので、事務局内での確認が終わり次第、塾生代表や議長に確認をお願いする流れであると述べた。また、今年中に 2022 年 10 月期定例会までの議事録は公開する予定であると報告した。

7. 議事

(1) 塾生代表からの業務報告

まず、先月から今月の定例会までで実施したことについて報告した。また、塾生・その他承認団体への面談を多く行ったとした。さらに、慶應義塾大学との面談を行い、新年度での新歓等々のご協力をお願い

したと報告した。その他性暴力ワークショップの取材対応や、SFC の ORF に参加し、カーボンニュートラルに関する政策などを環境情報学部教授等と対談したとした。その上で、全塾協議会においてもカーボンニュートラルを含めながら進めていき、早急に今後まとめていきたいと伝えた。

(2) 事務局からの業務報告

i. 総務政策部報告

特別委員会への人員抛出を行ったことを報告した。また、性暴力対策 WS や取材対応を行ったことを報告した。加えて、事務局内の資料の整理や事務局の Slack の整備、Google ワークスペースの検討及び調整を行ったことを報告した。

ii. 財務部報告

特別支出許可番号の発行作業を行ったと報告した。一部団体で入力完了していない団体が見られたので、その対応を近日中に行うと述べた。また、本定例会で特別支出承認申請が承認された場合は、定例会後すぐにシートに入力していただくようお願いしたいと伝えた。加えて、交付金交付額決定通知の作成を行ったと報告し、交付金決定スライドの作成は年内に終わらせると伝えた。また、公開用決算書類の作業も実施し、こちらも年内に終わらせると報告した。

財務管理の手引き改定作業については、現在実施中であり、12 月末を目標に財務講習会を実施しようとして検討している旨を伝えた。Slack 所属団体財務チャンネルについては、現在 WS に参加していない方には近日中に連絡し、12 月締め団体については返金対応などの期末に向けた準備を呼びかけた。その他、各種メール対応を行ったとした。

iii. 議事部報告

議会の準備及び運営を行なったと報告した。また、名簿反映や決議書の作成を行ったと報告した。他にも、各種メール対応を行ったと伝えた。

iv. 広報部報告

11 月期定例会の Web サイト更新を行ったことを報告した。また、HP 以降の検討、Twitter 内容の検討およびあいさつ運動の検討を行ったと報告した。HP の以降は急ぎ足で進めていく予定であり、Twitter とあいさつ運動に関しては、来週および来月以降から活動を本格化する予定であると伝えた。

v. 事務局長報告

事務局の次期役員選出および人事確定のための 1 on 1 面談を実施したことを報告した。また、所属団体との面談を行ったことを報告した。

(3) 選挙管理委員会 2023 年度塾生代表選挙日程報告

選挙管理委員会委員長 藤村悠哉より、2023 年度塾生代表選挙日程報告が上程された。委員長の藤村悠哉から「選挙について日程は議案資料の通り」と述べられた。

【2023 年度塾生代表選挙】

選挙運動期間：2022 年 11 月 18 日(金)～12 月 13 日(火)

投票期間：2022 年 12 月 14 日(水)～12 月 20 日(火)

(4) オリエンテーション実行委員会の交代報告

オリエンテーション実行委員会より交代報告が上程され、新代表に中島凛太郎が、新財務に木戸大暉が就任した。木戸は「委員長は中島に、財務は瀬崎から私になります。よろしく願いいたします。」と述べた。

(5) 卒業アルバム委員会の独自財源特別支出承認申請

卒業アルバム委員会 財務代理 高橋功太郎より独自財源特別支出承認申請が上程された。

高橋は代理のため説明が拙い部分があるがお願いいたしますと述べ、説明を行った。申請内容に関して、ゼミ撮影と個人撮影が中心である旨、本来撮影料をカメラクラブからの出向で払っていたが、今回はカメラを団体もちにしたので人件費のみという形にしている旨を述べた。フェンシング早慶戦に関しては資料の通りであり、交通費と飲食費も入っているとした。

塾生代表 山田健太は、特に交通費については、金額は最安値か尋ねた。高橋は、最安値かつ最短であると回答した。山田が再度どちらなのかと尋ねると、高橋は最安値であると回答した。ここで事務局長後藤は平塚早稲田間是最安値ではないと指摘した。卒業アルバム委員会の塚本は平塚～藤沢～新橋だと乗り換えの回数が多く時間もかかる旨、さらに機材もあり重いので、最安値にこだわることは困難であり効率的でないとし、それを踏まえたうえで最安ではないがこちらの額を申請したとした。山田はそれにしても、最安値でないにしてももっと適切な経路があるはずだが、詰めが甘いのではないかと指摘した。塚本は、撮影に関して電車内で納品をするといったこともあると述べた。1 日に 2～3000 枚の写真の選別を平塚～新橋の一時間でできるとした。

山田は、いつから基準が変わったのか気になっているとした。今回の基準を良しとすると基準があやふやになってしまうとし、どういう意思決定を踏まえて前年度より基準・内規を変えたのかと質問した。塚本は内規に関しては、名代なので存じ上げないとしながら、前年度から委員として関わっている中で、昨年度から最安値でなくても申請が通っている現状があるとした。経験から申し上げても、最安値でなくても合理的な手段を使っているとした。高橋は、自身が 4 年生である上で経験則から申し上げると、実質的に最安値にこだわると選別、編集、納品がかなりタイトできつく、紙面の充実度、クオリティが大きく異なるとした。片道当たり数十円の差において、紙面の変動の恐れがある場合は最安値でなくても支給しているとした。団体の存在の根本である、本来の充実した卒業アルバムという共通認識から金額の差が生まれているとした。山田らの指摘の通り、ルールを定めていないと無尽蔵にお金を使ってしまう側面はあるが、そちらを抑制できる団体の規定の設置により、抑制ができると考えている。この後の組織規程を踏まえながら運営をしていきたいとした。山田はケースバイケースなので否定できないとしながらも、卒業アルバム委員会は直近数年間領収書の問題など、財務体制が不健全であり、現在財務の方がご

尽力いただいているとした。財務体制が不健全であると主目的も果たせなくなるため、それならば支出を行う 3 日前までに内規を出していただいて、その妥当性により緊急執行という形をとるとした。重ねて去年どのような事例があったかなども含めていただきたいとした。新しい内規を定めて事務局に送付してほしい、文字にしておかないとごまかされてしまうので組織確認をしたいとした。そのため今回は保留とするとした。

全塾協議会および塾生代表は、この議案を保留とした。

(6) 卒業アルバム委員会の団体規約についての報告

卒業アルバム委員会財務代理 高橋功太郎より団体規約についての報告が上程された。本件に関して議員・塾生代表より意見等は特になかった。

(7) 芝学友会の独自財源特別支出承認申請

芝学友会代表 横山さくらより独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥2,052	事後	お茶代	塾生交流会にご登壇いただいた 6 年生に配布するため	2022 年 11 月中旬
2	¥6,100	事前	お花代	薬学未来講座にお招きする講演者へのお礼の花束として	2022 年 12 月前半
3	¥108	事前	お茶代	薬学未来講座にお招きする講演者へ当日渡すお茶代として	2022 年 12 月前半
4	¥5,500	事前	お菓子代	薬学未来講座にお招きする講演者へのお礼のお菓子代として	2022 年 12 月前半

横山より独自財源特別支出承認申請の説明があった。横山は、「一件だけ事後申請になってしまいました。申し訳ございません。①の塾生交流会は修士 2 年/薬学部 6 年のインタビュー。50 人程度の塾生が参加。②～④に関しては、薬学未来講座にご登壇いただく方に贈る贈答品費。ネットで金額を調べている。ご厚意で来てもらうため講演していただく際の金額はなし。こちらは事前申請。」と説明した。これに対して塾生代表 山田健太は、「基本的にお花代とお菓子代は多めに見積もっているはずだが、適切な額面を上部団体として判断してください。2 点目は講演が増えてくるとも踏まえて、お茶の一括購入で一本当たりの金額を下げるなどの工夫をしてほしい。その他の額面は適切だと思います。」と伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(8) 法学部政治学科ゼミナール委員会の交代報告

法学部政治学科ゼミナール委員会より交代報告が上程され、新代表に李寛裕が、新財務に河野さわが就任した。

(9) 選挙管理委員会の交付金特別支出承認申請

選挙管理委員会委員長 藤村悠哉より交付金特別支出申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥1,000	事前	菓子折り代	広報ハガキの印刷を依頼した印刷所へのお礼の品として	2023年1月

藤村より、交付金特別支出申請の説明を行い、内容は印刷所への菓子折り 1000 円であると伝えた。全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(10) 三田祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

三田祭実行委員会財務局長 佐藤のぞみより独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥945	事後	クリアファイル代	三田祭渉外企画「会計士道場」にて予備校に資料を送付する際に使用するため。	2022年11月中旬
2	¥5,560	事後	おしぼり代	三田祭渉外企画「会計士道場」にて情報宣伝のために来場者に配布するため。	2022年11月中旬
3	¥4,180	事後	サイリウム代	三田祭本部企画「SOUL STAGE MEDLEY」にて情報宣伝・企画演出のために来場者に配布するため。	2022年11月中旬
4	¥12,704	事後	袋代	三田祭本部企画「後夜祭 2022」にて情報宣伝・企画演出のために来場者に配布するサイリウム・ラバーバンドを入れるため。	2022年11月中旬
5	¥1,077	事後	割り箸代	三田祭本部企画「風神雷神」にて情報宣伝・企画演出のために来場者に配布するフラッグを作成するため。	2022年11月中旬

佐藤より、独自財源特別支出申請の説明を行った。これに対して塾生代表 山田は事後申請である理由を問い、佐藤より「企画の削減等などがあり、本番ぎりぎりに内容が決まることが多いため」と回答を得た。山田は、「今回の企画に関しては制度的な欠陥がありそう。毎月第三土曜日に全塾協議会定例会があるので、それまでに団体内で内容を詰めるといった工夫は必要かと思います。そこは一緒に考えるなりしていきましょう。額面で質問はないです。」と伝えた。さらに山田は、別件でのアンケートについて質問し、「今の団体でどのようにアンケートを行っていく予定か事務局に今週末を目途に送ってください。三田祭お疲れさまでした。」と加えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(11) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請

應援指導部より独自財源特別支出承認申請が上程された。

< 1 番項 > 本部会計

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥65,500	事後	謝礼金	東京六大学野球春季リーグ戦慶早戦のメイン代設営、及び撤収の為の運搬費	2022年11月9日
2	¥2,094	事後	お弁当代	東京六大学野球春季慶早戦前設営を依頼する自動車部への弁当代	2022年11月4日
3	¥6,260	事後	電車代	九州沖縄連合三田会渉外活動参加に伴う電車代	2022年11月12、13日
4	¥185,900	事後	飛行機代	九州沖縄連合三田会渉外活動参加に伴う飛行機代	2022年11月12日
5	¥71,312	事後	ホテル代	九州沖縄連合三田会渉外活動参加に伴う宿泊費	2022年11月12日

< 2 番項 > チアリーディング部会計

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥367,450	事前	11月分コーチ代	技術向上、及び安全の為のテクニカルコーチ代として	2022年12月
2	¥110,000	事前	部員への渉外活動還元金	部員への渉外活動の還元金代として	2022年12月

< 3 番項 > 定期演奏会会計

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥100,000	事前	器材運搬代	業者の方の器材運搬代として	2022年12月前半
2	¥6,000	事前	菓子折り代	定期演奏会関係業者にお渡しするため	2022年12月前半
3	¥30,000	事前	宿泊・食事代	定期演奏会前の秋季合宿に参加されるエキストラの宿泊代および食事代として	2022年12月前半
4	¥204,000	事前	ペンライト代	定期演奏会で使用する器材費として	2022年12月前半
5	¥100,000	事前	撮影・編集費	本年度定期演奏会に向けた動画の撮影・編集費として	2022年12月前半
6	¥35,000	事前	レンタカー代	定期演奏会器材運搬に使用するレンタカー代として	2022年12月前半
7	¥30,085	事前	舞台監視要員への人件費代	定期演奏会当日の舞台監視要員へ人件費をお支払いするため	2022年12月前半

應援指導部より、独自財源特別支出承認申請の説明を行った。担当者は、「事後申請をします。1つ目は慶應義塾大学体育會自動車部への謝礼金。これが事後になったのは、謝礼金の金額が直前までわからなかったからです。2つ目は慶應義塾大学体育會自動車部へのお弁当代です。三つ目の三人目については朝早くて時間がなかったため交通費が高くなった。」と説明した。これに対して塾生代表 山田健太は、宿泊費に関して個人差が大きいがここはどのようになっているのかと問い、中島より「応援活動の人員調整など、事前にドタバタしていた時期で、数日前にこの人数が決まった。この時間内の最安値をとったと

いう担当者からの声があった。三田会の謝礼も含まれているので、独自財源にマイナスはないという認識。」と返答を得た。それに対して、山田は「団体内で「高いところに泊まりたかった」的な声は出ないのか。どのくらい直前だったのかにもよるが、差が大きいのではないだろうか。ある程度は構わないが、疑問を抱きかねない状況にある。基準や目安を団体の中で定める必要がある。ご時世的に難しい部分もあるが、説明しやすい形をとるとよい。説明がつく形で、値段を決めてある程度負担をフェアにする、契約形態などを工夫するなどしてもらえれば良いと思います。その辺も踏まえて目安を設けてください。」と伝えた。

2 番項については特に質問がなされなかった。

3 番項について、担当者は「食事代は合宿に参加した人は払っており、部員以外のエクストラに関して返金をさせていただきたいと考えている。」と説明した。これに対して山田は、食事代と宿泊費は何のためかと問い、「エクストラの方の個人負担ではなく、のちの返金としての事前申請である」と回答を得た。山田は、「今回は良しとするが、人件費は専門性がある。そのため、言い方は悪いがぼったくってしまう可能性がある。担当の方で金額の理由が納得できるよう、そして算出根拠への説明などができるようにしてほしい。」と加えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(12) 應援指導部の交付金特別支出承認申請

應援指導部会計 中島由菜より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥235,650	事前	保険代	部で所有する器材車の任意保険代	2022 年 12 月

中島より交付金特別支出承認申請の説明を行った。中島は「任意保険代がこの金額になっています。内容としては変わっていないです。」と説明した。塾生代表 山田健太、「何年かに一度とは具体的には何年なのか」と問い、中島より「3年に一度払っている形になっています」と回答を得た。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(13) 矢上祭実行委員会の交代報告

矢上祭実行委員会より交代報告が上程され、新代表に丸谷祐晟、新財務責任者に松枝尚明、新財務副責任者に奥田大貴が就任した。前財務 松下香穂は「新たに交代をして新体制で進めていきます。財務について、第 23 回から引き続き、2 名体制でやっていきます。責任者 1 名、副責任者 1 名で進めていこうと考えています。副責任者のメールアドレスも登記書類に記載して提出させていただきたいです。」と述べた。丸谷は「の度第 24 回矢上祭に向けて取り組んでまいります。全塾協議会の皆さまにはご協力いただくことになるとは思いますが、よろしく願いいたします。」と新任の挨拶をした。

(14) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

矢上祭実行委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥8,909	事後	電車代	かわさきロボット競技大会参加のため	2022 年 8 月下旬

				め（区間変更のため再申請）	
2	¥11,662	事前	トランシーバー 固定用スポンジ	慶應義塾大学学生課より借用した備 品の弁済に係る特別支出	2022年11月上旬

松下より、独自財源特別支出承認申請の説明を行った。宣伝や川崎ロボットコンテスト運営のお手伝いのための交通費が1点目の申請である。松下は、「金額を訂正させていただいている。ロボットコンテストの参加に関する事項が変更になり、交通費も変更になったため再度申請している。池袋～川崎について金額が異なるのは、領収書には IC カードでの金額が書かれているのにもかかわらず、切符代である480円になっていたの、ひとまずこの金額にしてある。調査を進めていく。」と説明した。それに対して塾生代表 山田健太は、領収書の料金について決算まで明らかにし、理由を伝票に記載してほしい旨を伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(15) 塾生代表の緊急執行に関する議案

塾生代表 山田健太より緊急執行に関する議案が上程された。

山田は、対象団体は矢上祭実行委員会であり、学生部保有のトランシーバーの固定スポンジの紛失に対する弁償である旨、緊急性が高く学生部との関係性維持の面や金額の妥当性を考慮して、緊急執行を承認したと説明した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(16) 体育会本部の団体規約についての報告

体育会本部主幹 菊池龍志より団体規約についての報告が上程された。

体育会本部主幹 菊池龍志より、団体規約についての報告が行われ、内容については承認をいただいていると説明した。これに対し、塾生代表 山田健太は、「全体的に定義がない。役員会や理事会が何のものなのかが定まっていない。どちらかという組織の部類に記載してもらうのがいいと考える。また、新入生歓迎を団体規約にいれるのはどうなんだろう。修正する場合は規約に則ってやっていただく必要がある。主幹の選出方法くらいは書いておいてほしい。」と伝えた。

(17) 全塾ゼミナール委員会の団体規約についての報告

全塾ゼミナール委員会委員長 三河創太より団体規約についての報告が上程された。

全塾ゼミナール委員会委員長 三河創太は、「体裁がひどかったので直した。現状こちらの通りである」と説明した。これに対し塾生代表 山田健太は、「さすがだなというボリューム感。基本的に修正すべき箇所はわかっていると思うので、修正でき次第送ってください。全団体に向けて、活動場所の本拠地をルーム番号まで書いているが、変わった場合に変ではないかと考えている。こちらについては団体内で議論してほしい。」と所感を伝えた。

(18) 塾生代表より選挙期間中におけるコミュニケーションツールの運用に関する特例に関する報告

塾生代表 山田健太より選挙期間中におけるコミュニケーションツールの運用に関する特例に関する報告が上程された。

山田は、私自身が立候補している状態になったため、選挙の公平性を期すためにも管理責任を選挙管理委員会にかかわる部分については事務局長に委任していると述べた。ただし、2022年に限ったルールにしていると加えた。

(19) 塾生代表の2022年度全塾協議会第一次補正予算に関する議案

塾生代表 山田健太より、2022年度全塾協議会第一次補正予算に関する議案が上程された。

山田は、補正予算の修正を行ったと説明し、内容としては、タイトルミス、事務局の申請額不備であり、補正予算としては選挙管理委員会の額面、フッターの編集であると伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(20) 塾生代表の全塾協議会規約及び規則の変更に伴う議案

塾生代表 山田健太より、全塾協議会規約及び規則の変更に伴う議案が上程された。

山田は、先月期の議会で規約規則確認の割り振りをしたが進捗があまりないとし、議会と執行機関のバランスについて議論したいと説明した。私が推し進めるのはあまりよくないと思ったため、規約の割り振りを行ったと伝えた。案の一つは特別委員会を設置することだが、執行機関側に特別委員会があるのは形式的に好ましくないのではと説明した。2つ目の案は音頭をとる議員の方を決めるというものであると説明した。この件に関しては、議員の方にやってもらったほうがいいのではと判断したと述べられた。これに対して、福利厚生機関本部 松尾和真は、特別委員会となると議員の中で何人か選ぶという形になるのか、それとも全員なのかと問い、これに対して山田は「すぐにできるものではないし、委員長は委員になるが他はいろいろな人を巻き込めるという形になるが誰を巻き込むかという問題がある。」と返答した。文化団体連盟本部 松尾和真は、担当の設置がいいとは思ったが、交代などもあるのでそこを考えた方がいいのではないかと発言した。全塾ゼミナール委員会 三河創太は「執行機関側がやるのはあまり問題がないのではと思う。執行機関側の方が普段使いしているため詳しいと思う。名前を借りて議員の方がやるというのでもいいと思う。議員主体がいいのは確か。担当議員の設置というのはムラが出るのではないか。」と加えた。これに対して山田は、「これからより良くしていくために議会及び議長の強さを強めていきたい。議会運営はある意味少し独立して行わなければならない。今の状態は本質的にはあまり良くないと思う。特に足りていないところは議会にあると考える。議員の方が、ルールに精通しているため安定するのではないかと思う。そのようなことを求めて私は担当議員というのを提案した。妥協するならば、頑張ってみて足りないなら特別委員会をという形がいいのでは。」と返答した。四谷自治会 藤村悠哉は、議員が主導という部分に賛成し、特別委員会という形があったほうがきちんと続いていくのではないかと述べた。山田は、「特別委員会の場合は、メンバーは自由になり選択肢が広がる。委員会内でいかようにもできる。特別委員会の問題は、執行機関側のものになってしまうという問題がある。どちらにせよ今すぐにはできないので、一旦担当議員でやって無理そうならば特別委員会を設置するという形でいいのではないか。現状議会内に委員会を設置することができないので、いったんこれでいいの

ではないか。」と述べた。三河と体育会本部 菊池龍志が立候補し、本件の担当議員となった。

(21) 塾生代表の全塾協議会の基本政策に関する議案

塾生代表 山田健太より、全塾協議会の基本政策に関する議案が上程された。

山田は、Google ワークスペースを本格導入しようと思っていると伝え、容量がないことや慶應義塾とは独立して情報を置くところを作りたいこと、Gmail は信用性が欠けるのでその点も変えることが目的であると説明した。

また、山田はリーダーズキャンプについて以下のような相談を持ちかけ、意見を求めた。

「特別委員会を除いて祭関係と四谷自治会は予算と年度が一致しているため、基本は来年のことを話すべき。今の時期のリーキャンで来年のことを話すのは厳しい。バランスがいいのは半年前ならばある程度の制度が出る。つまり4月、5月。年度が替わることでいろいろ決定する。そのため5月がいいのでは。湘南に関しては12月1月が妥当。今のところ12月にやる予定。祭関係は半年前、それ以外は1年というのがきれいなのではないか。基本としては学祭は半年前それ以外は1年というものでよいか？」

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

また、山田は、カーボンニュートラルについて、議案にはないが話題として取り上げたいと述べ、全塾協議会も積極的に参入しようという旨を伝えた。具体的には自治会系を中心に予算での削減系のものに積極的に参入するや、特別支出で認めているお茶をラベルレスにするなど。どのくらいの程度で参入していくかは、一ノ瀬教授（環境情報学部長）が主導で、全塾協議会と協力したいとのことを説明した。これに対して、全塾ゼミナール委員会 三河創太のみ反対し、「具体的な施策がないと承認しようがない。たとえば業界講演会でお茶を出すなど言われたらいや」と述べた。これに対し山田は、「『全塾協議会としては学校法人慶應義塾、そして全世界で進められているカーボンニュートラル等の施策に対し、積極的な参与をしていく』という文言でどうでしょうか」と問い、三河は、「積極的とか言われると賛成できない」と返答した。山田は、「では『全塾協議会としては学校法人慶應義塾、そして全世界で進められているカーボンニュートラル等の施策に対し、賛同し、議論を深めていくこと』という文言でどうでしょうか」と再度提案し、全会一致で可決された。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(22) 塾生代表の次年度新歓運営における全塾協議会の基本方針に関する議案

塾生代表 山田健太より、次年度新歓運営における全塾協議会の基本方針に関する議案が上程された。

山田は、「新歓の事業は全塾生に関するものだが、3年ぶりに対面でやった上で、来年も全塾協議会主導でやってほしいと言われた。しかし私個人ではいうことができないので、全塾協議会で設置するということを決めたい。具体的には特別委員会の設置と自治会費の使用である。そしてこの方針に基づいて大学と交渉していくという形でいいか。」と説明した。これに対し事務局長 後藤美汐は、新歓に関してオリエンテーション実行委員会が以前はやってしたが、今後どのように業務分担するのかと質問し、山田は「オリエンテーション実行委員会は日吉のみの担当であるが、今回これを進めるにあたっては全キャンパスで協力していく。これを担えるのは福利厚生にあっている。今後に関しては全塾協議会として参

与していくべきだと考える。」と返答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(23) 選挙管理委員会の選挙管理委員会細則改正に関する議案

選挙管理委員会より、選挙管理委員会細則改正に関する議案が上程された。

選挙管理委員会委員長 藤村悠哉は、11条3項掲示物に関してのところを変更すると説明した。具体的には、「3日前を7日前に変更する。掲示物に関しては学生部に3営業日前までに提出しなければいけないため土日なども考えて7日前に変更する。説明会でその旨も示している。」と伝えた。これに対して全塾ゼミナール委員会 三河創太は、「候補者が反対しなければいい。候補者にとって不利益になる。」と述べた。これに対して藤村は、事前説明会で7日と説明し許可を得ている旨を説明した。事務局長 後藤美汐は、「前年度委員長として。選管でいったんまとめて提出してまた戻ってくるのをまっとうというプロセスをとるので7日は必要。3日前に提出されても学生部が対応できないので皆様に不利益になってしまう。」と述べた。三河は、今年度に関してだけ3日を許可し、できなかったらしょうがないという形をとるのはどうかと提案し、これに対して藤村は「現実的に3日前は無理。学生部に申請を出す意味がなくなってしまう。その結果すべて通らなくなってしまうので細則は改正したい。」と伝えた。芝学友会 横山さくらは、現実的に即していないのなら変えてもいいのではと述べ、体育会本部 菊池龍志や福利厚生機関本部 松尾和真が賛同した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

7. 連絡事項

議事部長 大澤治香より次回全塾協議会について、12月17日を予定しており、時間は決まり次第連絡すると伝えられた。

8. 閉会宣言

事務局長 後藤美汐が閉会を宣言し、閉会した。